

宇宙輸送

- 我が国が必要な時に、独自に宇宙空間に必要な衛星等を打ち上げる能力を将来にわたって維持・確保する。

基幹ロケットの維持・発展

- 宇宙ステーション補給機 (HTV) の打上げを担うH-IIBロケットの開発を行うとともに、H-IIAロケット・H-IIBロケットのキー技術の維持・発展、基盤の維持・向上等を行い、世界最高水準の打上げ成功率を実現する。

LNG推進系

- 「GXロケット及びLNG推進系に係る対応について(平成21年12月16日 内閣官房長官、宇宙開発担当大臣、文部科学大臣、経済産業大臣)」に基づき、これまでの研究開発の成果を活用しつつ、液化天然ガス(LNG)推進系に係る技術の完成に向け、高性能化・高信頼性化などの基礎的・基盤的な研究開発を推進する。

固体ロケットシステムの維持・発展

- 打上げ需要に柔軟かつ効率的に対応でき、低コストかつ革新的な運用性を有する次期固体ロケットの研究開発を行う。



H-IIAロケット13号機の打上げ

航空科学技術／宇宙航空技術基盤の強化

航空科学技術

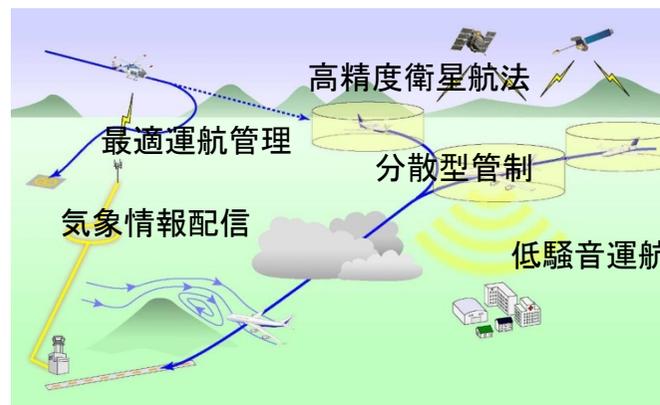
- 国が機構に実施させるべき先端かつ基盤的な航空科学技術に重点化して研究開発を行う。
 - －国産旅客機高性能化／クリーンエンジンに係る高付加価値・差別化技術
 - －静粛超音速研究機
 - －全天候・高密度運航技術
- 公正中立な立場から航空分野の技術の標準化、基準の高度化等に貢献する取組を積極的に行う。
 - －型式証明の技術基準策定及び認証に係る支援
 - －航空事故調査等に係る支援 等



次世代のリージョナルジェット機(MRJ)(三菱重工業(株))

宇宙航空技術基盤の強化

- 宇宙開発利用、航空、及びこれらの事業横断分野の先端技術及び基盤技術の研究を競争的な環境の下、推進する。
- 衛星の性能向上や信頼性向上、重要な機器・部品の確保、スペースデブリへの対応、萌芽的な研究を実施する。
- 機構内外の技術情報の収集・整理等、効果的・効率的な技術マネジメントを行う。
- 追跡・管制、環境試験・飛行試験等の施設・設備、宇宙航空研究開発における基盤的な施設・設備の整備を行う。



全天候・高密度運航技術



風洞試験設備

一般管理・事業共通部門

教育活動及び人材の交流

- 大学共同利用システム等を活用し、機構の研究開発を活かした大学院教育への協力を行うとともに、内外の大学、関係機関、産業界等との間で人材交流を実施する。
- 学校に対する教育プログラム支援や教員研修等を実施し、青少年が宇宙航空に興味・関心を抱く機会を提供する。

産業界、関係機関及び大学との連携・協力

- 大学との間で連携協力協定を締結する等、適切な体制を構築し、企業・大学等との共同研究の実施等を行う。
- 機構の有する知的財産の活用や施設・設備の供用を促進する。



大学院教育



コズミックカレッジ(青少年教育プログラム)

国際協力

- 多国間及び二国間の関係において、自律性を保持しつつ、諸外国の関係機関・国際機関等との相互的かつ協調性のある関係を構築する。
- 特にアジア太平洋地域での宇宙開発利用の促進及び人材育成の支援を行う。

情報開示・広報

- Webサイト、Eメール、パンフレット、施設公開及びシンポジウム等の多様な手段を用いた広報活動を展開する。
- 英語版Webサイトの充実等、海外への情報発信を積極的に行う。



断熱材技術のスピノフ((株)日進産業)



第14回アジア太平洋宇宙機関会議 10

資金計画

平成 20 年度～平成 24 年度資金計画

(単位：百万円)

区別	金額
資金支出	
業務活動による支出	458,549
投資活動による支出	439,762
財務活動による支出	17,715
次期中期目標の期間への繰越金	0
資金収入	
業務活動による収入	881,233
運営費交付金による収入	629,799
補助金収入	238,934
受託収入	7,500
その他の収入	5,000
投資活動による収入	
施設整備費による収入	34,793
財務活動による収入	0
前期中期目標の期間よりの繰越金	0

「宇宙開発に関する長期的な計画」(俯瞰図)(平成20年2月22日)

基本的な考え方

<我が国の宇宙開発の目的>

- ①国及び国民の安全と安心の確保
- ②宇宙空間を活用した社会基盤の整備・拡充
- ③未知のフロンティアたる宇宙への挑戦

以下の意義に大きく寄与

- ア) 人類の知的資産の拡大・深化
- イ) 社会変革をもたらすような技術革新(イノベーション)の創出、新しい価値観や新たな文化の創造
- ウ) 国際社会での我が国の総合的な影響力の維持・強化

<宇宙開発推進の基本方針>

- ① 堅固な技術基盤の上に立っての自律性の維持・確保を旨とする
- ② 国民・社会への成果還元を見据えた利用指向型の開発を行う
- ③ 飛躍を目指した強い意欲の下に高い独創性・先導性を有する世界一線級の研究開発成果・学術研究成果を創出する
- ④ 我が国の強みを活かした上で適切な選択と集中を図り、効果的・効率的に行う

宇宙開発利用の戦略的推進

国際宇宙ステーション計画の推進
ISS計画を推進し、達成・習得が困難な課題に挑戦、宇宙活動の基盤として積極的に活用

宇宙探査への挑戦
我が国の強みを活かし、宇宙の探査に積極、果敢に挑戦

宇宙科学研究の推進
長期的な展望に基づき我が国の特長を活かした独創的かつ先端的な宇宙科学研究を推進

宇宙利用プログラムの重点化
①地球環境観測、②災害監視・通信、③衛星測位の3つのプログラムに重点化

宇宙輸送系の維持・発展

- ・ H-IIAシリーズを基幹ロケットとして維持・発展
- ・ 効率性・多様性の観点から中型・小型のロケットを研究開発

宇宙開発基盤の強化・充実

- ・ 宇宙開発利用を支える技術基盤の強化・充実
- ・ 民間への技術移転や民間との連携を一層活発化するなど、産業基盤を強化

研究開発システムの改善

人材育成

- ・ 裾野の拡大と実践的な教育・訓練の充実
- ・ 段階に応じた研究者・技術者の資質向上と体系的なキャリア・パスの整備

日本の総力の結集と成果の社会還元

- ・ 産学官の各セクターの有機的な連携の確立
- ・ 宇宙発イノベーションの実現
- ・ 実利用分野の拡充と成果の積極的な社会還元

戦略的な国際協力の推進

- ・ 国際協力の枠組みの積極的な活用と自律性の保持
- ・ 我が国発の国際枠組みの活用とリーダーシップの確保

国民の支持の獲得と国際社会での影響力の維持・強化

- ・ 積極的に広報・普及活動を実施。

JAXAの運営の強化

- ・ 研究能力・技術能力を涵養
- ・ 経営・管理能力の強化とより厳格な評価の実施